

Title	はじめに, 沿革, 組織図, 構成員, 各センターの業務内容
Author(s)	
Citation	国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学技術サービス部業務報告集 : 平成20年度: 1-4
Issue Date	2009-11
Type	Others
Text version	publisher
URL	http://hdl.handle.net/10119/9988
Rights	
Description	

はじめに

技術サービス部は平成17年4月に事務局(当時の学術協力課内)技術室から学長直属の組織として独立し7月に『技術サービス部』に名称変更して現在に至っています。この組織変更は2つの重要な意味を持っています。

第一は(大学にとっての意味)、これまでともすれば教員と事務職員の間に埋もれがちであった技術職員の存在を、教育・研究を下支えする存在として大学全体で再認識し、その活性化のため一定のリソース投入を可能にしたことにあります。めざすところは、様々な意味で技術職員がより働きやすい環境を実現することにあります。

第二は(技術職員にとっての意味)、現在20名在籍する技術職員全体の組織的一体感を醸成すると共に、個々の技術職員に大学を支える一員としての自覚を促し不断の自己研鑽を求めることにあります。即ち、支援を手厚くすることに伴うより大きな責任を果たして頂くことを求めるものです。これは、技術職員の自立＝組織依存からの脱却をめざすものです。

大学全体の組織体制としては、技術サービス部は、技術職員が一体的に所属する組織であり(派遣元、と考えられる)、技術職員が日常業務を行う4つのセンターは技術サービス部からの技術職員の派遣先と位置づけられます。この意味で、日常業務をご計画・ご指導頂く各センター長には、部長補佐として技術サービス部に所属して頂き、技術職員に関する業務、労務・労働環境、将来計画等の問題に関し技術サービス部長を補佐するかたちでの活動をお願いしています。

今後も技術サービス部の活性化に向けて様々な施策・計画・提案の実行を考えていますが、それらの発展的継続のためわれわれが果たすべき義務は、サポートをして頂く大学や社会全体に対し、技術サービス部、及び個々の技術職員の日常活動や業務についてできる限りオープンにしていくことだと考えています。

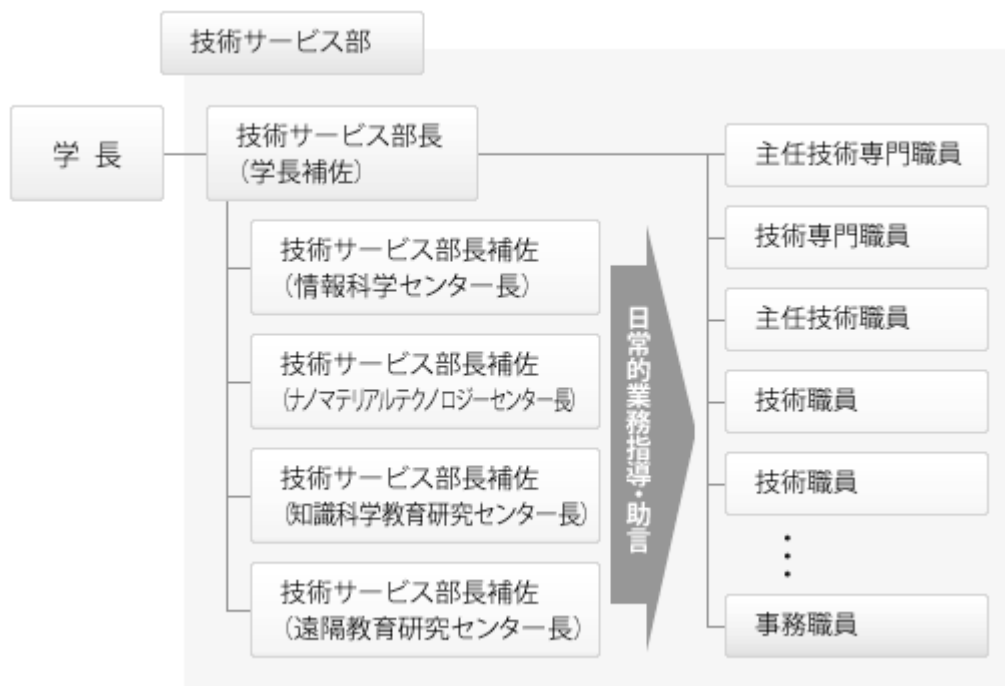
この度、発足3年半にして、技術サービス部独自のホームページを初めて立ち上げ、続いてこの最初の年次報告書(年報第1号)を発行することになりました(平成21年11月頃刊行・頒布予定)。これらは、技術サービス部の学内外への説明責任を果たす第一歩であり、今後さらに内容の充実強化を進めていきたいと考えています。技術サービス部に關心をお持ちのすべての学内外の方々に、今後ともご支援と継続的なチェックをお願いする次第です。

技術サービス部長 山田省二(学長補佐)

1 沿革

平成 2 年 1 0 月	北陸先端科学技術大学院大学 開学 情報科学研究科 設置
平成 3 年	材料科学研究科、情報科学センター 設置
平成 4 年	新素材センター 設置
平成 7 年 4 月	研究協力部研究協力課 研究企画係 技術室 発足
平成 8 年	知識科学研究科 設置
平成 1 0 年	知識科学教育研究センター 設置
平成 1 3 年	遠隔教育研究センター 設置
平成 1 4 年	ナノマテリアルテクノロジーセンター 設置 (新素材センターを改組)
平成 1 7 年 4 月	技術室 設置 (技術室長による運営開始。事務局から独立。)
7 月	技術サービス部と改称 現在に至る
平成 1 8 年	マテリアルサイエンス研究科 設置 (材料科学研究科を名称変更)

2 組織図(平成 21 年 10 月現在)



3 構成員(平成 21 年 10 月現在)

部長		山田 省二
部長補佐（４名）	情報科学センター長	松澤 照男
	ナノマテリアルテクノロジーセンター長	佐々木 伸太郎
	知識科学教育研究センター長	西本 一志
	遠隔教育研究センター長	安藤 敏也
情報科学センター（９名）	主任技術専門職員	木戸 孝一
	主任技術職員	岡本 忠男
	主任技術職員	中野 裕晶
	主任技術職員	間藤 真人
	主任技術職員	小坂 秀一
	主任技術職員	上埜 元嗣
	技術職員	二ツ寺 政友
	技術職員	須藤 千恵
	技術職員	宮下 夏苗
ナノマテリアルテクノロジーセンター（８名）	主任技術職員	東嶺 孝一
	主任技術職員	能登屋 治
	技術職員	伊藤 暢晃
	技術職員	大坂 一生
	主任技術職員	木村 一郎
	技術職員	村上 達也
	主任技術職員	宇野 宗則
	技術職員	仲林 裕司
知識科学教育研究センター（１名）	技術職員	福島 清信
遠隔教育研究センター（２名）	主任技術職員	辻 誠樹
	技術職員	但馬 陽一

4 各センターの業務内容

センター	業務内容
情報科学センター	情報科学センターは、先端科学技術分野に関するあらゆる教育・研究ニーズに対応するため、超高速ネットワークを利用した高性能で大規模なデータストレージサービスと超並列計算機群によるコンピューテーションサービスを提供し、インテリジェント・キャンパスの基盤となる世界でも有数の大規模情報環境を構築・集中管理しています。
ナノマテリアルテクノロジーセンター	ナノマテリアルテクノロジーセンターは、ナノメートル（100 万分の 1 ミリメートル）の世界で起こる現象の理解とナノサイズの計測、加工、デバイス技術、すなわちナノテクノロジーを推進するためのセンターです。マテリアルサイエンス研究科を中心とする学内組織と協力し、ナノテクノロジー分野における研究、教育を支援するとともに、この分野の研究の先導的役割を果たします。
知識科学教育研究センター	知識科学教育研究センターは、知識科学研究科と連携し、先駆的知識創造環境の研究開発を支援・推進するとともに、高度知識創造社会での即戦力となる人材を育成・輩出します。
遠隔教育研究センター	遠隔教育研究センターは、遠隔教育を通じて本学の教育研究の多様化、高度化に取り組むことを目的に設置されました。遠隔教育に関する研究、企画、システムの開発・運用、実施・推進に関わる業務を所掌しており、特に遠隔教育の実施・推進については各研究科・センターを結ぶコーディネーターとしての役割を担っています。